

FUKU! SOBA

No.3

福井県産ソバの『高単収』を目指して!!

今年は、播種期の好天と適度な降雨により生育は良好です。心配された台風10号による被害も少ないように見受けられますが、近年は線状降水帯の発生による集中豪雨が多く、排水が間に合わないことで冠水被害が発生することが懸念されます。出来秋の忙しい中ではありますが、今一度排水路の確認を行いましょう。

1. 帰化アサガオ類の除草

マルバルコウ(帰化アサガオ類)の種子は、ソバの実と見分けがつかない形や大きさであるため、**ソバの実に混入するとふるいにより落とす事ができません。**(混ざると実需者に引き取ってもらえません)

マルバルコウは、畦畔で増え広がっていくため、畦畔での除草対策しかありません。

畦畔で花を見たら直ちに除草剤散布等により、ソバへの混入を防ぎましょう。

【使用除草剤名】 バスタ液剤またはザクサ液剤



「ソバの圃場に侵入した帰化アサガオ」

2. 病害虫の予防と防除

ヨトウムシは、9月中旬頃から突発的に被害が発生し始めます。播種時期の早い圃場や生育の旺盛な圃場を中心に 見回り、被害が見え始めたら早急に防除を行いましょう。一度発生すると、急速に被害が広がりますので早期発見、適期防除が重要になってきます。



【ハスモンヨトウに登録のある殺虫剤】

薬剤名	使用時期	使用回数	希釈倍数	使用量(10a)
ロムダンフロアブル	収穫21日前まで	2回以内	2,000倍	100～300L
ロムダン粉剤 DL	収穫21日前まで	2回以内		4kg
ゼンターリ顆粒水和剤	発生初期(収穫前日まで)	—	2,000倍	100～300L
フェニックス顆粒水和剤	収穫7日前まで	2回以内	2,000～6,000倍	100～300L



■ 設置数の目安
2～4個/ha



【フェロモントラップ: ハスモンヨトウ雄成虫誘引剤】

- フェロディンSLなどのフェロモントラップを設置していない圃場では早急に設置し交雑を抑える。
- 団地化された地域では、誘殺用フェロモントラップの圃場への設置が被害の発生防止に有効です。
- 設置位置は地上から1.0m～1.5mで草丈より高い位置に設置する。
- 発生が見られた場合はロムダン粉剤で早急に防除する。